

様式6

: 「学校」部門

# 河川基金助成事業

## 「利別川から未来を考える河川学習」 報告書

助成番号：2024-7213-003

12ポイント

北海道本別町立勇足小学校

校長 氏名 舘 英樹

2024 年度

助成番号		助成事業名		学校名		
2024-7213-003		利別川から未来を考える河川学習		本別町立勇足小学校		
所在地		北海道中川郡本別町勇足 150 - 1	対象河川名	利別川		
対象学年		5 学年(4 人)、6 学年(8 人)	主たる教科	総合的な学習の時間		
河川教育の目標		5 年生：体験活動や調べ学習を通して川が育む生物の多様性についてまとめる中で、川が果たしている役割について理解を深める。 6 年生：体験活動や調べ学習を通して現在の川が育む生物の多様性についてまとめたり、アイヌの人々や昔の人々と川のかかわりについて理解を深めたりするが果たしている役割について理解を深める。				
育成したい資質・能力		5 年生：(主体的に学習に取り組む態度) 利別川に集う生物を調べ、集う理由を考えようとする。(知識・技能) 利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。(思考力・判断力・表現力等) 利別川に集う生物がどのように影響し合っているのか考え、まとめることができる。 6 年生：(主体的に学習に取り組む態度) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだそうとする。(知識・技能) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについて理解している。(思考力・判断力・表現力等) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだすことができる。				
学習活動の内容と成果						
(5 年生) 利別川に出かけ、利別川に集う水生生物を採取し、種名を調べる活動 利別川に集う生物のうち、数種類を選んで継続して観察したり、調べたりして、利別川に集う生物の関係についてまとめる活動 利別川に集う生物の特徴や関係性について発表し合い、利別川の生物を図で表す活動。			(6 年生) 利別川に集う生物を調べ、生物が利別川に集う理由を考え、まとめる活動を通して、利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。 アイヌの人々のチャシ跡を見学したり、アイヌの人々の文化を調べたり、専門家の説明を聞いたりする活動を通して、アイヌの人々と利別川のかかわりについて理解している。 過去から現在までの利別川と人々とのかかわりから問題を見だし、当時の人々の生活への理解を深めることを通して、利別川の未来を考えようとする。			
学びの創意工夫点		導入時の河川における自然体験学習に当たっては、専門家の方を6名招聘して子供の問題意識を高めるとともに、サケの皮を使ったアイヌの靴づくりやヨシなどの植物を使ったアイヌの倉庫づくりなどに取り組めるよう工夫した。				
河川教育を通じて見られた子どもの変容		調べたことと実生活を結び付けて考えようとしたり、実際にやってみようとしたりするなど、主体的に学習に取り組む態度に変容が見られた。				
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関、博物館、資料館等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>河川での自然体験活動や調べ学習等において説明、ネイチャーゲームの実施、質疑応答及び安全管理への協力等</li> <li>調べ学習での助言等</li> </ul>				
成果発表		成果作品		発表方法		
<p style="text-align: center;"><b>今後の課題・展開</b></p> 今年度は、暫定的に年度当初の活動を5学年と6学年同内容で実施したが、来年度からは、今年度の学習を踏まえて年度当初から別の内容で学習を実施できるように計画する。特に6学年は、じっくりとアイヌの人々と河川のつながりについて学習を深められると考える。						

様式 14-3

[学校部門] 単学年・複数学年

[見られたことの変容]

助成番号	助成事業名	学校名
2024-7213-003	利別川から未来を考える河川学習	本別町立勇足小学校



5 学年 :

学習活動名 : 利別川に集う生物

見られた子どもの変容 :

河川での自然観察時に採取した様々な生物を水槽で飼育したり、種名を調べて、分類したりすることなどを通して、河川に集う生物への興味・関心が高まった。

「人の体のつくりと河川の生物の比較」という問題を見いだした子供は、解剖して内臓を調べていた。

はじめは、興味・関心に基づいて観察したり、採取したりするだけであったが、途中から疑問点を講師の方に聞いたり、学校に戻ってから調べたり、するなどの姿が見られた。



5 学年 :

学習活動名 : 河川での自然体験活動

見られた子どもの変容 :

最初の自然観察では、問題を見い出すことが難しい様子であったが、河川での自然観察を繰り返し実施したり、専門家の方の説明を聞いたり、自分で調べたりすることなどを繰り返しおこなうなかで、問題意識を高め、追究する課題を見い出すことができた。

見いだした課題は、「生物図鑑の作成」や「十勝石がどこから来たのだろうか」か等であった。

子供は、問題を見い出すことが難しかったが、問題を見い出すには、観察で気付いた疑問点をさらに深く考えることで問題を見い出すことができることを学ぶことができた。

川の魚の成長と体の中の構造はどうなっているのか
川と石の関わりについて
川の魚はそれぞれどのように違うのだろうか共通点と相違点を見つけて整理したい
勇足の川にいる魚の生態

5 学年 :

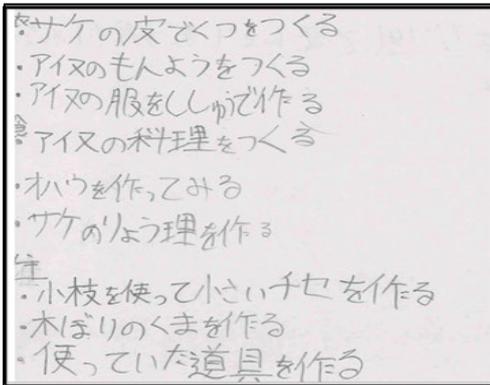
学習活動名 : 河川での自然体験活動

見られた子どもの変容 :

上記と重なる部分もあるが、子供達が見いだした課題の一部。見いだした問題から、さらに具体的な課題をいくつか設定して追究活動を行った。

最初は、どのように調べたらいいか戸惑う姿も見られたが、途中からそれぞれの課題に合った追究の仕方調べ、発表スライドを作成することができた。調べ方に関わる知識・技能が高まった。

子供は、できるだけ問題を具体的にしたり、どのように調べたらいいのかを明確にしたりすることで、課題を追求できるといふこと理解できた。そのことで、自己効力感が高まり、粘り強く課題に取り組む姿が見られるようになった。



6学年：

学習活動名：アイヌの人々の衣食住

見られた子どもの変容：

第6学年は、今年度は5年生と一緒に河川の自然観察等の学習を行うこととしていた。河川の自然観察等から問題を見出すことは、なかなかできなかった子供も、アイヌの人々の衣食住に関わる問題は、すぐに見いだすことができ、変容が感じられた。比較したり、気付いたことをもとに友達と相談したり、疑問点を調べてみたりするなどして、追究可能な問題を見出すことができていた。

これまでの学習を生かして、インターネット、資料で調べる、専門家に聞く、実際にやってみるなど、見いだした問題の解決方法も、考えることができた。



6学年：

学習活動名：アイヌの人々の衣食住（食・住）

見られた子どもの変容：

子供は、調べ学習等において興味・関心が高まり、アイヌの人々の文化等について、調べるだけでなく体験を通して学びたいという思いをもつことができた。

アイヌの人々の食である「オハウ」づくりや、住である「プ」づくりでも、見通しをもって、粘り強く取り組む姿が見られた。



6学年：

学習活動名：アイヌの人々の衣食住（衣）また、体験活動を通し、アイヌの人々の文化のすばらしさだけでなく、大変さについても考えを広げることができた。

粘り強く取り組むことが苦手な子供もいたが、サケの皮を使った靴づくりでは、まず作り方を調べ、次に画用紙で試作する活動を通して見通しをもったことで、最後まで試行錯誤しながら取り組むことができた。

また、体験活動を通して、アイヌの人々の生活について、様々な生活の工夫や源を余すことなく使っていたりすることなどに気づき、アイヌの人々の文化に対する考えを深め、アイヌの人々への尊敬の気持ちをもつことができた児童も見られた。

※ 公益社団法人 北海道さけ・ます増殖事業協会様からサケ10尾を寄付していただいた。

注1) 子どもの変容が分かる写真を掲載し、その変容が見られた学習活動名、見られた子どもの姿（変容）を記載してください。その際、できる限り子どもが発した言葉などを拾い上げてください。

注2) 全ての活動について載せる必要はありません。

# 河川教育計画書【複数学年5年生】

1.助成事業名	利別川から未来を考える河川学習	学校名	本別町立勇足小学校	助成番号	2024-7213-003																																																		
2.河川教育の目標	体験活動や調べ学習を通して川が育む生物の多様性についてまとめる中で、川が果たしている役割について理解を深める。																																																						
3.育成したい資質・能力	主体的に学習に取り組む態度：興味をもった生物が川や他の生物とどのようにかかわりながら生きているのか、河川の環境保全の方法等について、体験、ICT活用、人に聞くなど様々な方法で、粘り強く調べることができる。 思考力・判断力・表現力等：体験したことと調べたことなどを結び付けて、川を中心に多様な生物が互いに影響を及ぼし合いながら自然が維持されていることについて考えを深め、河川の環境保全について、まとめ表現することができる。 知識・技能：川を中心に多様な生物が互いに影響を及ぼし合いながら生態系が維持されていることや環境保全についても理解を深めるとともに、それを調べる方法や表現する方法を身に付けている。																																																						
4.学年／人数	5学年／4名																																																						
5.単元構想	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 5%;">月</th> <th style="width: 10%;">4</th> <th style="width: 10%;">5</th> <th style="width: 10%;">6</th> <th style="width: 10%;">7</th> <th style="width: 10%;">8</th> <th style="width: 10%;">9</th> <th style="width: 10%;">10</th> <th style="width: 10%;">11</th> <th style="width: 10%;">12</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 10%;">3</th> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">単元目標</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">単元名「利別川から未来を考える河川学習／①利別川の生物多様性」</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">単元名「利別川から未来を考える河川学習／②利別川の気になる生き物」</td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">単元名「利別川から未来を考える河川学習／③利別川の生態系」</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">利別川に集う生物を調べ、生物が利別川に集う理由を考え、まとめる活動を通して、利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">興味をもった生物について、様々な角度から調査したり調べたりして理解を深め、どうして利別川に集うのか交流することを通して、利別川に集う生き物の生態系にかかわる問題を見いだすことができる。</td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">見いだした生態系にかかわる問題の解決方法を考える中で、河川の環境保全について理解を深め、利別川の環境保全についての考えをもつことができる。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:国語 10時間</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:理科、国語 15時間</td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:国語 10時間</td> </tr> </table>					月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	単元目標	単元名「利別川から未来を考える河川学習／①利別川の生物多様性」			単元名「利別川から未来を考える河川学習／②利別川の気になる生き物」			単元名「利別川から未来を考える河川学習／③利別川の生態系」						利別川に集う生物を調べ、生物が利別川に集う理由を考え、まとめる活動を通して、利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。			興味をもった生物について、様々な角度から調査したり調べたりして理解を深め、どうして利別川に集うのか交流することを通して、利別川に集う生き物の生態系にかかわる問題を見いだすことができる。			見いだした生態系にかかわる問題の解決方法を考える中で、河川の環境保全について理解を深め、利別川の環境保全についての考えをもつことができる。						主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:国語 10時間			主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:理科、国語 15時間			主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:国語 10時間					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																											
単元目標	単元名「利別川から未来を考える河川学習／①利別川の生物多様性」			単元名「利別川から未来を考える河川学習／②利別川の気になる生き物」			単元名「利別川から未来を考える河川学習／③利別川の生態系」																																																
	利別川に集う生物を調べ、生物が利別川に集う理由を考え、まとめる活動を通して、利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。			興味をもった生物について、様々な角度から調査したり調べたりして理解を深め、どうして利別川に集うのか交流することを通して、利別川に集う生き物の生態系にかかわる問題を見いだすことができる。			見いだした生態系にかかわる問題の解決方法を考える中で、河川の環境保全について理解を深め、利別川の環境保全についての考えをもつことができる。																																																
	主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:国語 10時間			主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:理科、国語 15時間			主たる教科:総合的な学習の時間 関連教科:国語 10時間																																																
主な学習活動	○町内の利別川をたどる空撮動画を見て、利別川の概観をつかむ活動。  ○利別川に出かけ、利別川に集う生物を見つける活動。(植物、鳥、ほ乳類等)	○利別川に出かけ、利別川に集う生物の種名を調べる活動。(専門家による説明)  ○生物が利別川に集う理由を調べ、まとめる活動。(植物、鳥、ほ乳類)	○利別川に出かけ、利別川に集う水生生物を採取し、種名を調べる活動。(専門家による説明)  ○生物が利別川に集う理由を調べ、まとめる活動。(水生生物)	○利別川に集う生物のうち、数種類を選んで観察したり、調べたりする活動。  ○利別川に集う生物にかかわる専門家の方の話を聞いたり、一緒に観察したりすることを通して、観察の仕方や調べ方を見直す活動。	○利別川に集う生物のうち、数種類を選んで継続して観察したり、調べたりして、利別川に集う生物の関係についてまとめる活動。  ほ乳類 エゾシカ、ヒグマ 木本 エゾノキヌヤナギ、オノエヤナギ ミズナラ 草本 昔はヨシが群生 現在はかなりかく乱されている。 鳥類 アオジ、ショウドウツバメ、オオシギ 魚類 エゾウグイ、カワヤツメ、ヌマガレイ	○利別川に集う生物の特徴や関係性について発表し合い、利別川の生物を図で表す活動。  ○利別川に集う生物の関係性をまとめ、問題を見いだす。	○専門家の方(大学教授、役場職員)に利別川の災害と治水についての話を聞き、開発と保全について、見いだした問題にかかわる問題意識を深める活動。  ○利別川に集う生物を含めた環境保全について、調べたことをまとめ、発表し合う活動。																																																
	評価の観点	○(主体的に学習に取り組む態度)利別川に集う生物を調べ、集う理由を考えようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等)生物が利別川に集う理由を考え、まとめることができる。 ○(知識・技能)利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。	○(主体的に学習に取り組む態度)利別川に集う生物を調べ、集う理由を考えようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等)生物が利別川に集う理由を考え、まとめることができる。重点 ○(知識・技能)利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。	○(主体的に学習に取り組む態度)利別川に集う生物を調べ、集う理由を考えようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等)生物が利別川に集う理由を考え、まとめることができる。重点 ○(知識・技能)利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。重点	○(主体的に学習に取り組む態度)利別川に集う生物を調べ、関連付けようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等)利別川に集う生物がどのように影響し合っているのか考え、まとめることができる。重点 ○(知識・技能)利別川に集う生物の生態系を理解するとともに、生物を生態系の視点から調べる方法を理解している。	○(主体的に学習に取り組む態度)利別川に集う生物を調べ、関連付けようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等)利別川に集う生物がどのように影響し合っているのか考え、まとめることができる。重点 ○(知識・技能)利別川に集う生物の生態系を理解するとともに、生物を生態系の視点から調べる方法を理解している。	○(主体的に学習に取り組む態度)利別川に集う生物を含めた環境保全について考えようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等)利別川に集う生物を含めた環境を保全していくためにはどのような方策があるのかを考え、まとめることができる。重点 ○(知識・技能)利別川に集う生物を含めた環境保全の方策について理解している。																																																

# 河川教育計画書【複数学年6年生】

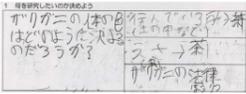
1.助成事業名	利別川から未来を考える河川学習	学校名	本別町立勇足小学校	助成番号	2024-7213-003
2.河川教育の目標	体験活動や調べ学習を通して現在の川が育む生物の多様性についてまとめたり、アイヌの人々や昔の人々と川のかかわりについて理解を深めたりするが果たしている役割について理解を深める。				
3.育成したい資質・能力	主体的に学習に取り組む態度：「過去の利別川と人々との関り」の中から問題を見だし、多様な方法で粘り強く調べようとする。 思考力・判断力・表現力等：「過去の利別川と人々との関り」の中から見出した問題について、調べ、まとめ、発表し合い、多様な考えに触れる中で、未来の利別川について自分の考えをもつことができる。 知識・技能：過去から現在までの利別川と人々とのかかわり及び未来の利別川の課題などに理解を深めるとともに、調べる方法や表現する方法及び考えを深める方法を身に付けている。				
4.学年／人数	6 学年／8 名				

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元目標	<b>単元名「利別川から未来を考える河川学習／①利別川の生物多様性」</b>			<b>単元名「利別川から未来を考える河川学習／②利別川の歴史と文化」</b>			<b>単元名「利別川から未来を考える河川学習／③利別川の未来」</b>					
	利別川に集う生物を調べ、生物が利別川に集う理由を考え、まとめる活動を通して、利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。 (今年度から河川学習を始めるので、今年度のみ、1学期は5年生と同じ活動とするが、来年度からは、2学期の内容を1学期に行うなど、学習が深まるよう単元計画を改善する。)			アイヌの人々のチャシ跡を見学したり、アイヌの人々の文化を調べたり、専門家の説明を聞いたりする活動を通して、アイヌの人々と利別川のかかわりについて理解している。 利別川を観察したり、開発建設部の方々の話を聞いたり、調べ学習したりする活動を通して、利別川の開発や治水の歴史などについて理解している。 過去から現在までの利別川と人々とのかかわりから問題を見だし、当時の人々の生活への理解を深めることを通して、利別川の未来を考えようとする。			生態系という側面と社会的な側面の両面から、利別川の環境保全について理解を深め、利別川の未来についての考えをもつことができる。					
	主たる教科:総合的な学習の時間    関連教科:国語    10時間			主たる教科:総合的な学習の時間    関連教科:理科、国語    15時間			主たる教科:総合的な学習の時間    関連教科:国語    10時間					
主な学習活動	○町内の利別川をたどる空撮動画を見て、利別川の概観をつかむ活動。  ○利別川に出かけ、利別川に集う生物を見つける活動。(植物、鳥、ほ乳類等)	○利別川に出かけ、利別川に集う生物の種名を調べる活動。(専門家による説明)  ○生物が利別川に集う理由を調べ、まとめる活動。(植物、鳥、ほ乳類)	○利別川に出かけ、利別川に集う水生生物を採取し、種名を調べる活動。(専門家による説明)  ○生物が利別川に集う理由を調べ、まとめる活動。(水生生物)	○アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについての説明を聞く活動。  ○説明や調べ学習等を通して、興味をもった場所などを実際に見学し、理解を深める活動。	○アイヌの人々もしくは利別川の治水の歴史から、問題を見だし、見出した問題を調べ学習や体験学習を通して解決していく活動。	○調べたことなどを交流し合うことを通して、質問や意見などから、学習を深める示唆を得る活動。  ○専門家の方(大学教授)に利別川の災害と治水についての話を聞き、開発と保全について、見出した問題にかかわる問題意識を深める活動。	○これまでの利別川のかかわりと、現在の開発と保全について学んだことから、利別川の未来についての考えをまとめる活動。  ○利別川の未来についての考えを交流し合い、利別川のよりよい未来について考える活動。					
評価の観点	○(主体的に学習に取り組む態度) 利別川に集う生物を調べ、集う理由を考えようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等) 生物が利別川に集う理由を考え、まとめることができる。 ○(知識・技能) 利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。	○(主体的に学習に取り組む態度) 利別川に集う生物を調べ、集う理由を考えようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等) 生物が利別川に集う理由を考え、まとめることができる。重点 ○(知識・技能) 利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。	○(主体的に学習に取り組む態度) 利別川に集う生物を調べ、集う理由を考えようとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等) 生物が利別川に集う理由を考え、まとめることができる。重点 ○(知識・技能) 利別川に集う生物の種名や特徴などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。重点	○(主体的に学習に取り組む態度) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだそうとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだすことができる。重点 ○(知識・技能) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについて理解している。重点	○(主体的に学習に取り組む態度) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだそうとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだすことができる。重点 ○(知識・技能) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについて理解している。重点	○(主体的に学習に取り組む態度) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだそうとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだすことができる。重点 ○(知識・技能) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについて理解している。重点	○(主体的に学習に取り組む態度) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだそうとする。重点 ○(思考力・判断力・表現力等) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などから問題を見いだすことができる。重点 ○(知識・技能) アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについて理解している。重点					

河川教育 学習活動報告書【複数学年5年生】

1.助成事業名	利別川から未来を考える河川学習	学校名	本別町立勇足小学校	助成番号	2024-7213-003
---------	-----------------	-----	-----------	------	---------------

2.実際に行った単元構成  
 (注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																				
学習活動の結果	<p>単元名「利別川から未来を考える河川学習」①利別川の生物多様性</p> <p>利別川に集う生物を観察することなどを通して興味・関心を高めて調べたい動植物等を選択し、自分で見いだした課題に基づいて、生物等について詳しく調べるとともに、調べたことに基づいて、専門家の方々や子供同士で話し合うことなどにより、考えを深めることができる。これらの学習活動を通して、利別川に集う生物の種名、特徴及び生態などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。</p> <p>関連教科:総合的な学習の時間25時間、理科5時間、社会5時間</p>				<p>単元名「利別川から未来を考える河川学習」②利別川の気になる生き物</p> <p>興味をもった生物等について、様々な角度から調査したり調べたり、専門家の方に聞いたりして更に理解を深め、プレゼンテーションソフトを活用して発表することができる。どうして利別川に集うのか交流することを通して、生物等が利別川に集う理由を多面的に考え、川を中心に多様な生物が互いに影響を及ぼし合いながら生態系が維持されていることや環境保全についても理解を深めることができる。</p> <p>関連教科:関連教科:総合的な学習の時間25時間、国語10時間、理科8時間、学校行事10時間</p>				<p>単元名「利別川から未来を考える河川学習」③利別川の生態系</p> <p>見いだした生態系にかかわる問題を個人研究として追究し、共同研究として解決方法を考え、学級での交流を通して、自然の大切さや生態系の仕組み及び河川の環境保全について理解を深め、地域を流れる利別川の環境保全について、自分なりの考えをもつことができる。</p> <p>関連教科:関連教科:総合的な学習の25時間、理科5時間、社会5時間</p>																							
	<p>本別町を流れる利別川の空撮動画の視聴や利別川を地図で辿る活動などを通して、子供は利別川の概観をつかむことができた。</p> <p>また、利別川に出かける際の注意事項については、下見を踏まえて担任団から丁寧に説明し、子供が十分理解した上で活動できるように配慮した。</p> <p>利別川に出かけ、利別川に集う生物を見つける活動を2回実施した。子供は、2回の利別川周辺での学習活動を通して興味・関心を高め、自分が調べたい動植物(ウチダザリガニ、ヤマメ、ヨモギなど)、石等を決めることができた。</p> 				<p>利別川に出かけ、利別川に集う生物の科名、種名、特徴等、自分で見いだした課題にそって調べる活動を行った。</p> <p>&lt;専門家による説明等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイチャーゲームを通して基本的な生態系の仕組み等についての説明</li> <li>・大学教授による、基本的な岩石のでき方や北海道の岩石についての説明</li> <li>・植物の専門家による、河畔の植物と、内陸よりの植物との分布の違い等について</li> </ul> <p>子供は、見いだした問題に基づいて個人研究を行い、興味・関心や必要に応じて、生物の採取と飼育を行った。生物等が利別川に集う理由までは、明らかにできなかったが、見いだした問題について深く調べたり、図鑑にまとめたりする姿が見られた。</p> 				<p>子供は、見いだした問題に基づいて個人研究を継続し、生物の飼育を続けたり、個人研究の一環で解剖したり、専門家の方とやり取りしたりするなど、多様な方法で各自の課題を追究する姿が見られた。</p> <p>個人研究の推進に当たっては、「比較」、「理由づける」、「関連付ける」、「分類する」、「具体化する」、「順序づける」、「構造化する」、「見通す」などの観点を示し、意識的に研究等に生かすよう指導した。子供は、これは分類してみよう、これは順序付けてみよう、学習活動を進める姿が見られた。</p> 				<p>利別川に集う生物等を調べている中で、子供は、他の川についても調べてみたいという思いをもつようになった。昨年度も、学習の一環で化石掘りを行ったことなども話題となった。</p> <p>そこで、宿泊学習の行き先を変更し、「蝶滝川」で化石掘りを実施した。化石掘り体験や河原の散策などを通して、似たような植物や岩石等があることなどに気づくとともに、河川への興味・関心を高めていた。</p> 				<p>利別川に集う生物のうち、興味・関心をもって課題を見いだした数種類を選んで、継続して観察したり、調べたりして、利別川に集う生物の関係についてまとめる活動。</p> <p>子供が見いだした課題</p> <p>○川の近くの自然の生き物の食べたり食べられたりする関係をあきらかにするために、「植物、草食動物、肉食動物の種類」、「毒のある植物」、「流木」について調べる。</p> <p>○十勝石は何年前にあったのかを明らかにするために、「1年間十勝石について調べる」、「宝石のように光っている秘密」、「十勝石があった場所を地図に書く」などについて調べる。</p>  <p>※ウチダザリガニについては、環境省が指定する特定外来生物であり、飼育等については制限があることを指導した結果、自分でも法律をきちんと調べていきたいと考えるようになった。</p> 				<p>子供が見いだした課題</p> <p>③ドジョウを詳しく知るために、「なぜ、種類によって全長が違うのか」、「なぜ、種類によってヒゲの数が違うのか」、「なぜ種類によって模様が違うのか」について調べる。</p> <p>これらの個別の課題を追究する中で共同研究を見通した調べ学習へと進めるよう指導した。</p> <p>例えば、「川の近くの生き物の食べたり食べられたりや毒のある植物の身の守り方」、「ドジョウの食べたり食べられたり関係」など、川を中心に多様な生物が互いに影響を及ぼし合いながら生態系が維持されていることや環境保全について調べる活動を進めていた。</p> 				<p>川による災害を防ぐための治水について調べ、見出した問題にかかわる問題意識を深める活動。</p> <p>川による災害を防ぐための治水を調べ、教科書にはない排水機場や樋門などが近くの川にもあることがわかった。また治水だけでなく、自然環境の保全や再生も行われていることを知り、北海道の絶滅危惧種などについて調べる学習をした。</p> <p>北海道でも絶滅した生物がいること、絶滅危惧種が増えていることから、治水だけでなく自然環境の保全や再生も必要になったのでは、と予想した。</p> 				<p>北海道を流れる川の治水について川の歴史や現状を調べ、自然環境について意識を高める活動。</p> <p>北海道のいくつかの川について、治水の歴史や自然環境の保全、再生について調べたことをまとめ、発表し合った。</p> <p>川が流れる地域により、失われつつある自然環境も様々で、それぞれに自然環境の保全や再生を行っていることをお互いに知ることができた。</p> <p>例えば、天塩川ではサケ、サクラマス等の良好な遡上環境、釧路川では魚類・水生昆虫の生育環境、札内川ではケショウヤナギが生育できる環境(樺河原)などの保全、再生をしていること。</p> <p>北海道の川の現状を知る活動を通して、治水は人の命を守ると同時に他の動物など生態系などにも配慮することが大切だということに気づくことができた。</p>			

3.得られた成果  
 主体的に学習に取り組む態度：興味・関心をもった生物が川や他の生物とどのようにかかわりながら生きているのか、河川の環境保全の方法等について、体験、ICT活用、人に聞くなど様々な方法で、粘り強く調べるとともに、調べ方について改善しようとする姿が見られた。

思考力・判断力・表現力等：北海道でも絶滅した生物がいること、絶滅危惧種が増えていることから、治水だけでなく自然環境の保全や再生も必要になったのではと考えることができた。また、体験したことと調べたことなどを結び付けて、川を中心に多様な生物が互いに影響を及ぼし合いながら自然が維持されていることやアイヌの人々の文化について考えを深め、まとめ表現することができた。特に、考える際に「比較」、「理由づける」、「関連付ける」、「分類する」、「具体化する」、「見通す」などの考え方を意識的に活用して理解したことなどを、スライドにまとめ表現する姿が見られた。

知識・技能：北海道の河川の現状を知る活動を通して、治水は人の命を守ると同時に他の動物など生態系などにも配慮することが大切だということに気づくことができた。利別川の課題及びアイヌの人々の文化などに理解を深めるとともに、調べる方法や表現する方法及び考えを深めたり、広げたりする方法を身に付けることができた。

4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果

河川を学習の題材としたことにより、水生生物、植物、岩石等にまで子供の興味・関心が広がり、多様な学習を行うことができた。また、北海道の河川は、治水が発展途上であるという側面があることから、河畔には生態系の豊かさが残っており、学習が進めやすいという特徴がある。人間の生活を守ることと環境保全について、子供の興味・関心が高まる効果が見られた。

1.助成事業名	利別川から未来を考える河川学習	学校名	本別町立勇足小学校	助成番号	2024-7213-003
---------	-----------------	-----	-----------	------	---------------

2.実際にいった単元構成  
 注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

単元名「利別川から未来を考える河川学習」①利別川の生物多様性

利別川に集う生物を観察することなど通じて興味・関心を高めて調べたい動植物等を選択し、自分で見いだした課題に基づいて、生物等について詳しく調べるとともに、調べたことに基づいて、専門家の方々や子供同士で話し合うことなどにより、考えを深めることができる。これらの学習活動を通して、利別川に集う生物の種名、特徴及び生態などを理解するとともに、生物の調べ方やまとめ方を理解している。

関連教科:総合的な学習の時間25時間、理科5時間、社会5時間

単元名「利別川から未来を考える河川学習」②利別川の歴史と文化

興味をもった生物等について、様々な角度から調査したり調べたり、専門家の方に聞いたりして更に理解を深め、プレゼンテーションソフトを活用して発表することができる。どうして利別川に集うのか交流することを通して、生物等が利別川に集う理由を多面的に考え、川を中心に多様な生物が互いに影響を及ぼし合いながら生態系が維持されていることや環境保全についても理解を深めることができる。

関連教科:総合的な学習の時間25時間、理科5時間、社会5時間、学校行事4時間

単元名「利別川から未来を考える河川学習」③利別川の未来

個人研究のまとめと交流から生態系の側面と共同研究のまとめと交流から社会的な側面について利別川とのかかわりについて理解を深めるとともに、利別川と人間とのかかわりの歴史や現在の状況等から未来の生活について考え、利別川と人々の生活について考えをもつことができる。

関連教科:総合的な学習の25時間、理科5時間、社会5時間

学習活動の結果

本別町を流れる利別川の空撮動画の視聴や利別川を地図で辿る活動などを通して、子供は利別川の概観をつかむことができた。

また、利別川に出かける際の注意事項については、下見を踏まえて担任団から丁寧に説明し、子供が十分理解した上で活動できるように配慮した。

利別川に出かけ、利別川に集う生物を見つける活動を2回実施した。子供は、2回の利別川周辺での学習活動を通して興味・関心を高め、自分が調べたい動植物(ウチダザリガニ、ヤマメ、ヨモギなど)、石等を決めることができた。



利別川に出かけ、利別川に集う生物の科名、種名、特徴等、自分で見いだした課題にそって調べる活動を行った。

<専門家による説明等>

- ・ネイチャーゲームを通して基本的な生態系の仕組み等についての説明
- ・大学教授による、基本的な岩石の成り方や北海道の岩石についての説明
- ・植物の専門家による、河原の植物と、内陸よりの植物との分布の違い等について

子供は、見いだした問題に基づいて個人研究を行い、興味・関心や必要に応じて、生物の採取と飼育を行った。生物等が利別川に集う理由までは、明らかにできなかったが、見いだした問題について深く調べたり、図鑑にまとめたりする姿が見られた。



子供は、見いだした問題に基づいて個人研究を継続し、生物の飼育を続けたり、個人研究の一環で解剖したり、専門家の方とやり取りしたりするなど、多様な方法で各自の課題を追究する姿が見られた。

個人研究の推進に当たっては、「比較」、「理由づける」、「関連付ける」、「分類する」、「具体化する」、「順序づける」、「構造化する」、「見通す」などの観点を示し、意識的に研究等に生かすよう指導した。子供は、これは分類してみよう、これは順序付けてみよう、学習活動を進める姿が見られた。



アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについての説明を聞く活動を行った。

文化庁の内田氏から、アイヌの人々の文化のうち、特に衣食住についての説明を聞くことを通して、利別川とアイヌの人々の文化の概要について理解することができた。

子供に、現在の衣食住と比較して考えるよう指導し、アイヌの人々の衣食住について予想させた。子供は、「アイヌの人々の食べ物であれば、例えばデザートは何だろうか?」、「衣服であれば晴れの日に着る服はあるのだろうか?」といったように、自分なりの考えを楽しみながら予想することができた。

1. 利別川に集う生物の科名、種名、特徴等、自分で見いだした課題にそって調べる活動を行った。	児童・生徒
2. 専門家による説明等	児童
3. 個人研究の推進に当たっては、「比較」、「理由づける」、「関連付ける」、「分類する」、「具体化する」、「順序づける」、「構造化する」、「見通す」などの観点を示し、意識的に研究等に生かすよう指導した。子供は、これは分類してみよう、これは順序付けてみよう、学習活動を進める姿が見られた。	児童
4. アイヌの人々と利別川のかかわりや、利別川の治水の歴史などについての説明を聞く活動を行った。	児童
5. アイヌの人々の文化のうち、特に衣食住についての説明を聞くことを通して、利別川とアイヌの人々の文化の概要について理解することができた。	児童
6. 子供に、現在の衣食住と比較して考えるよう指導し、アイヌの人々の衣食住について予想させた。子供は、「アイヌの人々の食べ物であれば、例えばデザートは何だろうか?」、「衣服であれば晴れの日に着る服はあるのだろうか?」といったように、自分なりの考えを楽しみながら予想することができた。	児童

利別川に集う生物等を調べている中で、子供は、他の川についても調べてみたいという思いをもつようになった。昨年度も、学習の一環で化石掘りを行ったことなども話題となった。

そこで、宿泊学習の行き先を変更し、「蝶湾川」で化石掘りを実施した。化石掘り体験や河原の散策などを通して、似たような植物や岩石等があることなどに気づくとともに、河川への興味・関心を高めていた。



アイヌの人々の「食」・「衣」体験活動を通して、アイヌの人々の文化への理解を深めることができた。

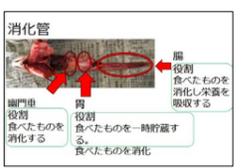
一般社団法人十勝釧路管内さけます増殖事業協会から、サケ10匹を寄付していただき、サケの皮で靴づくりを行った。



利別川に集う生物のうち、興味・関心をもって課題を見いだした数種類を選んで、継続して観察したり、調べたりして、利別川に集う生物等について理解を深めるとともに、アイヌの人々とかかわりについても考えをもつことができた。

子供のスライドから

- 「ヨモギ」を中心に食べられる植物、葉になる植物を調べた子供は、植物の毒性について調べたこととアイヌの人の狩りと結び付けて、エゾノトリカブトの根を矢に差っていたことなども調べることができた。
- 「川魚の体の中について調べた子供は、解剖して人間との比較を通して浮袋が魚特有の器官であることなどを調べるとともに、解剖した際に魚の皮の丈夫さに気づいたことから、アイヌの人々の靴づくりと結び付けていた。



「住」づくり体験を含めて、アイヌの人々の文化について調べるだけでなく、体験活動も実施することにより、大変さや工夫されていること及び巧みさなどに気づき、実感を持ってアイヌの人々の生活を考えることができた。



子供は、共同研究のまとめとして、アイヌの人々は、いろいろな技術があり、全てを自給自足しておりすごいと感じながらも、「アイヌの人々の生活は、生きていくのが大変だ」ということが分かり、今の生活の方が幸せ(らく)なのではないか、と考える子供が多かった。

これらの学習を通して、調べるだけでなく実際にやってみる大切さを理解し、調べ学習をしていても、実際に体験しようとする姿が見られた。

また、比べる、関係づけるなどの考え方や調べたり、まとめたりする学習方法が身に付いた子供が見られた。

来年度も継続して河川学習を実施したいと考える子供が多く、来年度は、河原で材料を集めてアイヌの服やサケの加工及びチャシづくりなどの体験等を通して、アイヌの人々の生活を学習していく予定である。

3.得られた成果  
 主体的に学習に取り組む態度：興味・関心をもった生物が川や他の生物とどのようにかかわりながら生きているのか、河川の環境保全の方法等について、体験、ICT活用、人に聞くなど様々な方法で、粘り強く調べるとともに、調べ方について改善しようとする姿が見られた。

思考力・判断力・表現力等：体験したことと調べたことなどを結び付けて、川を中心に多様な生物が互いに影響を及ぼし合いながら自然が維持されていることやアイヌの人々の文化について考えを深め、まとめ表現することができた。特に、考える際に「比較」、「理由づける」、「関連付ける」、「分類する」、「具体化する」、「見通す」などの考え方を意識的に活用し、課題解決に向かう姿が見られた。

知識・技能：過去から現在までの利別川と人々とかかわり、利別川の課題及びアイヌの人々の文化などに理解を深めるとともに、調べる方法や表現する方法及び考えを深めたり、広げたりする方法を身に付けることができた。

4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果  
 河川を学習の題材としたことにより、水生生物、植物、岩石等にまで子供の興味・関心が広がり、多様な学習を行うことができた。

また、アイヌの人々の文化の学習においては、アイヌの人々が河川とともに生活していたことから、衣食住に関わる素材を河川周辺で調達していた実態がある。そのため、当然ながら、学習を進めるにあたって、河川に出かけたり、河川とかかわる方々から調達したりすることが必要となる。アイヌの人々の文化から、自分の生き方を見つめ直す学習においては、河川が必要不可欠であるとともに、子供が体験活動を通し、実感を持って、アイヌの人々の文化への理解を進める効果が見られた。

助成番号	助成事業名	学校名
2024-7213-003	利別川から未来を考える河川学習	本別町立勇足小学校

主な実施箇所  
 ・本別町の利別川流域の河原等 ・足寄町の螺湾小学校裏の河原等

※利別川の河原



※足寄町立螺湾小学校うらの河原



助成事業の主な実施箇所